

## 学校評価（保護者用：12月）

### 「学校の取組として児童の育成に効果が表れているもの」 の保護者コメントについて

#### 学習指導・生活指導

- 自分のことは自分で出来るようになってきました。先生が話してくれた事などあらゆる場面で思い出しては話してくれます。「授業が楽しい！」とよく言っており、楽しく登校しています。
- 授業で学べたことを家でもいろいろ話してくれます。楽しく過ごせていて、充実した小学校生活が送れているので、それだけで十分だと思っています。
- 先生方の適切な声かけが、とても助かっています。
- 算数検定では絶妙な目標設定で、悔しい感情や達成感、諦めない力が身に付いたと思います。粘り強い指導ありがとうございます。
- 休んで遅れてしまった状況を自分で一生懸命取り戻そうと努力している姿が見られて、とても嬉しく思います。
- 音楽に興味をもった。自分に自信をもった。

A 昨年度からもお伝えしていますが、本校では、子供たちが社会で活躍する10年後、15年後の未来を見据えながら、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を通して、資質・能力を育成することを目指しています。

その中でも、特に、子供たちが自ら問題を見出し、自力で、または他者と対話・協力をして主体的に課題解決ができる力「主体性」を伸ばす学習指導に力を入れています。

「主体性」を育てるために、学校では、直接体験や生活経験から問題を見出させたり、問題を解きたいと思えるような導入を工夫し、学習への関心を高めさせたりしています。

子供たちが何かの経験や体験から疑問を抱いたり、疑問に対して自ら調べてみようとしたりする姿を見たときには、その行為を褒め、さらに意欲的に活動ができる支援をしていただけると幸いです。

## 特色ある教育活動

- 先日バザーに参加しました。黒浜西小の児童は保護者や地域参加のご高齢者まで隔てなく挨拶をされていてすごく気持ちよかったです。児童みな素直で実直で、とても良い学校だなあと感じます。先生方もみな熱心でありながら穏やかで、安心してこどもを預けられます。  
上の子は今年無事卒業を迎える年になりました。心優しく素直にまっすぐ育ったのは黒浜西小の先生方のおかげです。下の子はこれからまだまだお世話になります。引き続きお導きをお願いいたします。
- 学校行事をもう一度考えてほしい。運動会の平日開催は、児童・保護者のためには全くなっていない。今後も平日開催とするなら、具体的で保護者が納得する理由を示してほしい。昨年の学校便りの理由は、全く理由になっていなかった。  
持久走大会も、記録会ではなく持久走大会に戻してほしい。  
土曜日授業をするなら、毎回学校公開も兼ねて参加できると、保護者や地域の方に開かれた学校としてより認知されると思う。  
コロナ対策、働き方改革、理由はあると思うが、教育効果や児童のためとなる学校行事精選を考えてほしい。  
先生方は、本当に一生懸命やってくださり、大変感謝している。黒浜西小学校は素晴らしい学校なので、引き続き一人一人に向き合った教育を続けてほしい。
- 持久走記録会、見学に行きましたが、校長先生も一緒に走ってくれ、他の児童も先生達も一生懸命に声援を送っており、観ていてとても良い気持ちになりました。ありがとうございました。
- あいさつを元気にしていることです。
- ひとクラスになって思ったことは、授業参観の保護者数が多すぎて、授業の様子が見にくい。コロナ禍中の時のように、奇数偶数で時間を分けて欲しい。分けるのが難しいのであれば、子供と一緒に作業するときは2つのクラスに分けてやるべき。または体育館など広いスペースでできる授業参観を企画していただきたい。
- 西小の子供たちは、いつも笑顔で元気な印象があります。先生もいつも笑顔で対応してくださるので、笑顔の輪が広がっているのだと思っています。
- 先生が日記や自主学習などにコメントを書いてくださることを子供は楽

しみにして励みにもなっています。

A 今年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行となったこともあり、多くの行事で制限などを設けることなく実施することができました。また、その都度、多くの保護者、地域の方々に参加をいただき、黒浜西小学校の子供たちが輝いている様子を見ていただけたことを嬉しく思っています。

昔から、「子供は、家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」と言います。家庭・地域と共通の育成イメージをもちながら、子供たちの将来への飛躍を共に支えられるよう、子供たちの努力の過程やその成果、課題などを的確に発信してまいりたいと思います。

また、行事の実施につきましては、今年度の取組状況を踏まえながら検討を重ね、子供たちにとってよりよいものにしていきたいと考えております。ご理解くださいますようお願いいたします。

子供たちは、あいさつがとても上手です。黒浜西小学校の地域が、あいさつあふれる地域となり、その様子が周囲にも広がっていきけるよう、家庭、学校、地域が手を携えて取り組んでいけると幸いです。

## その他

- 休みの日にも、学校の校庭に遊びに来ている子供たちがいることから、普段から学校に対して、親しみが現れていると思います。
- 夏場プールの授業で、以前は教師から児童に対して酷い罵倒が聞こえていて不安でしたが、今はなくなったので児童の育成の上で適切だと思えます。

A 昨年度から、本校の「目指す児童像」の一つに「自分のよさを知り、自信をもって生活できる児童」を設定して日頃の教育活動に取り組んでいます。

具体的には、教師が、子供たちが見せる「キラリと光る姿」を見過ごすことなく褒め、長所として認識させてあげることや、子供たち同士が友達のよさを伝え合うような活動を取り入れること、異学年で交流させることで学年に応じた責任感や自覚、達成感を味わわせてあげることなどを重視しています。

これからも、子供たちの笑顔があふれる学校でいられるよう励んでまいります。